科目名	世界史Ａ	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　３年　全コース	予定時数	７０

学習目標

１．世界の古代から現在までの大きな歴史の流れを理解することができる。
２．近現代史を中心とする世界の歴史が、どのように展開されてきたか理解することができる。
３．世界の中の日本を意識し、日本が世界の中で果たす役割を歴史的観点から考察することができる。

学　習　内　容

【１学期】
近・現代世界史の背景
　１　古代文明の成立
　２　ユーラシア諸地域の世界
　　東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア
　　南北アメリカ・アフリカ・ユーラシアの交流
成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ
　１アジア帝国の繁栄とヨーロッパ
　　中華帝国の繁栄と東アジア
　　１５～１７世紀の東南アジア
　　西アジアと南アジア
　　１６世紀のヨーロッパ
　　主権国家体制と世界商業
【２学期】
　２大西洋世界の変容とその波及
　　ヨーロッパとアメリカの諸革命
　　産業革命と世界市場の拡大
　　ヨーロッパの動乱と波及
　３産業化社会の拡大と成熟
　　ウィーン体制とその崩壊
　　国民国家への道
　４アジア諸国の変貌と日本
　　東アジア・東南アジア・南アジアの変容
　　西アジア・アフリカの変容
現代の世界と日本
　１帝国と民族の時代
　　急変する人類社会
　　植民地の拡大と深まる国家の対立
　　アジア・アフリカの抵抗運動
　２二つの世界大戦の時代
　　第一次世界大戦
　　戦後秩序の形成
　　世界恐慌とファシズム
　　第二次世界大戦
【３学期】
　３冷戦と民族独立の時代
　　戦後世界の形成
　　アジア・アフリカの民族運動
　　冷戦体制の動揺
　　冷戦の終結
　４グローバル化の中の危機
　　グローバル化とアメリカ合衆国
　　地域統合の模索
　　動揺する中東と世界の地域紛争
　　アジアの変容と多様化

教科書	世界史Ａ（東京書籍）
副教材	世界史Ａワークノート（東京書籍）

学習評価

１　関心・意欲・態度
　・学習活動に意欲的に取り組んでいる。
　・世界の歴史の出来事に関心を持ち、意欲的に探求しようとする姿勢がある。
２　思考・判断
　・歴史的事象面に対して、意欲的に思考・判断し、理解を深めようとしようとしている。
　・授業で学んだ歴史と現代社会と比較し多面的・多角的に考察できる。
３　資料活用の技能・表現
　・様々な資料から歴史の流れや意味を読み取ることができる。
　・資料を活用しその時代背景や文化的特徴を理解できる。
４　知識・理解
　・世界の歴史について大きな流れを理解している。
　・世界の諸地域の歴史的な特色やその背景を理解している。

備　考	

科目名	日本史Ａ	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　３年　全コース　選択	予定時数	７０

学習目標

１、日本の古代から現在までの大きな歴史の流れを理解することができる。
２、日本の歴史と世界との関連を意識し、日本の歴史の世界での位置づけを理解することができる。
３、世界の中の日本を意識し、日本が世界の中で果たす役割を歴史的観点から考察することができる。

学　習　内　容

【１学期】
古代～近世の概略
近代国家と社会の形成
１　世界と東アジア
２　近代国家の誕生
３　近代社会の形成
二つの戦争と大日本帝国
１　日清戦争と日露戦争
２　帝国形成期の社会
帝国とデモクラシー
１　大正デモクラシー
２　ヴェルサイユ体制とロシア革命
【２学期】
デモクラシーの展開と帝国の変容
１　都市化と市民文化
２　東アジアの情勢と恐慌
アジアの戦争第２次世界大戦
１　日中１５年戦争
２　アジア太平洋戦争
現代日本の源流
１　戦後世界と日本
２　冷戦と日米安保体制
【３学期】
冷戦の中の経済成長
１　高度成長下の日本
２　経済大国
現代の日本
１　転換した世界の仕組み
２　現代日本の課題

教科書	高校日本史Ａ　新訂版（実教出版）
副教材	

学習評価

１　関心・意欲・態度
・学習活動に意欲的に取り組んでいる。
・日本の歴史の出来事に関心を持ち、意欲的に探求しようとする姿勢がある。
２　思考・判断
・歴史的事象面に対して、意欲的に思考・判断し、理解を深めようとしようとしている。
・授業で学んだ歴史と現代社会と比較し多面的・多角的に考察できる。
３　資料活用の技能・表現
・様々な資料から歴史の流れや意味を読み取ることができる。
・資料を活用しその時代背景や文化の成立・特徴が理解できる。
４　知識・理解
・日本の歴史について大きな流れを理解している。
・日本の歴史への世界との関わりについて理解し、その背景や影響をを理解している。

備　考	

科目名	地理Ａ	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　１年　全コース	予定時数	７０

学習目標

１．地球や環境の基本的事項を理解し、世界の諸地域に関する知識理解を深める。
２．人類が直面する課題を多くの視点から掘り下げ理解することができる。
３．地図の性質を理解し、読図技能を身につける。

学　習　内　容

【１学期】
1　地球儀や地図でとらえる現代社会
・球面で世界を考えよう
・世界地図の特徴を知ろう
・世界観の広がりと地図　など

【２学期】
2　世界の人々の生活を取りまく地理的環境
・さまざまな環境の中で暮らす人々
・世界的視野から見た地形
・さまざまな地形と生活　など

【３学期】
3　世界の諸地域の生活・文化と環境
・東アジアの暮らしを学ぶ
・東南アジアの暮らしを学ぶ　など

4　さまざまな地球的課題
・人口問題
・食糧問題
・都市、居住問題

教科書	等学校地理Ａ　（第一学習社）、高等地図帳（二宮書店）
副教材	

学習評価

1　関心・意欲・態度
・学習活動に意欲的に取り組んでいる。
・地理的分野に関心を持ち、意欲的に探求しようとする姿勢がある。
2　思考・判断
・課題意識を持ち、意欲的に思考・判断し、事象面を追求しようとしている。
・授業の成果をいかして社会や生活との関連を考えられる。
3　資料活用の技能・表現
・様々な資料から環境的特徴や文化的特徴などを読み取ることができる。
・様々な資料の読み取りから、総合的な判断ができる。
4　知識・理解
・世界の諸地域について環境的特徴や文化的特徴などを理解している。
・身近にある様々な地図の見方や活用法を理解している。
・学んだ内容が関連付けて整理され定着し、知識を用いて発展的な応用ができる。

備　考	